

社会資本総合整備計画

事後評価書

平成29年3月21日

計画の名称	1 東海・東南海・南海地震に備えた安全・安心の確保（復興基本方針関連（全国防災））			
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	和歌山県	
計画の目標				

今後の30年以内に60～87%の確率で発生が予想される東海・東南海・南海地震に対して対策を行い、地域における社会基盤の安全・安心を確保する。

計画の成果目標（定量的指標）

・東海・東南海・南海地震において発生が予想される津波に対して安全が確保されるよう水門・樋門等の遠隔化・自動化及び耐震化の整備率を12%（H23）から44%（H27）にする。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
① 東海・東南海・南海地震において発生が予想される津波に対し、ゲート操作の遅れ等による津波遡上による浸水被害を軽減するための水門・樋門等の遠隔化・自動化及び耐震化の率。（整備水門・樋門数/要整備水門・樋門数）	12%（4基）	32%（11基）	44%（15基）	全体計画 34基						
全体事業費	合計 (A+B+C)	497 百万円	A	497 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
和歌山県において評価を実施	事業完了後 公表の方法 和歌山県ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 河川事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-2	河川	一般	和歌山県	直接	-	高潮1・2	改修	紀伊水道地区地震・高潮対策河川事業（津波・高潮対策）	和歌川外1河川	和歌山市外2市町						497
合計															497	

B 関連社会資本整備事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・東海・東南海・南海地震において発生が予想される津波に対して安全が確保されるよう水門・樋門等の遠隔化・自動化及び耐震化の整備率が44%を達成し、津波遡上時のゲート操作の遅れ等による浸水被害の軽減が可能となった。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（河川整備率）	最終目標値	44% (15基)	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成。
		最終実績値	44% (15基)		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					

(参考図面)

